

〔第1号通信〕

日本遊戯療法学会 第28回大会 案内
メインテーマ 「マンガとあそび —ファンタジーを生きる—」

2023年10月21日(土)～10月22日(日)

会場：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス(大阪府堺市中区学園町1番1号)

～ ご挨拶 ～

日本遊戯療法学会 第28回大会 大会長 川部 哲也(大阪公立大学)

日本遊戯療法学会第28回大会を2023年10月21日(土)、22日(日)の2日間、大阪公立大学中百舌鳥(なかもず)キャンパスにて開催いたします。当キャンパスは昨年度までは大阪府立大学という名称でしたが、2022年4月に大阪公立大学として出発した新しい大学です。この新大学で遊戯療法学会大会をお引き受けできることを光栄に思います。

本大会のテーマは「マンガとあそび —ファンタジーを生きる—」としました。今や子どもから大人まで幅広く楽しんでいるマンガやアニメについて臨床心理学的に考えを深めながら、本学会が大切にしているあそびとの接点を探ること、さらにファンタジーを生きることの意義についてあらためて考えられるような大会にしたいと思っています。

1日目の特別講演には、大阪府堺市出身の漫画家でいらっしゃる石川雅之氏をお呼びします。『もやしもん』『純潔のマリア』『惑わない星』など、多数の著作がある先生です。講演テーマは「マンガをつくる、マンガをあそぶ」としました。マンガを描くにあたり、物語やキャラクターがどのように生まれてくるのかという話を通して、マンガの世界の魅力について語っていただきます。その後、マンガをはじめ様々なサブカルチャーに造詣の深い岩宮恵子先生(島根大学)を指定討論者とし、司会者も交えて三者の対談形式で議論を深めていく予定です。

2日目のシンポジウムには、「アニメやマンガから浮かび上がるころ」というテーマのもと、マンガやアニメ作品を臨床心理学的観点から読み取ることができる人間のころについて考える時間にしたいと思っています。話題提供者は、西嶋雅樹先生(神戸女学院大学)、岩城晶子先生(宝塚大学)、川部哲也(大阪公立大学)です。

例年と同様に、ワークショップ(1日目午前)を8コースをご用意します。研究発表(2日目)もごさいます。大会テーマに関連する研究発表は大歓迎ですし、遊戯療法など子どもの臨床現場に関連する発表ももちろん歓迎です。

会場となる大阪公立大学の心理臨床センターは、大阪府立大学時代からプレイセラピーができる専門機関として、南大阪地域に根づいており、大学院生は皆、熱心にプレイセラピーに打ち込んでおります。その臨床経験に裏づけられたスタッフ一同の「遊び心」には自信があります。大会会場を遊び心で満たし、皆様をおもてなししたいと考えております。

また、会場となる大阪府堺市は、世界遺産の百舌鳥・古市古墳群があります。日本最大の前方後円墳である仁徳天皇陵古墳は有名です。千利休や与謝野晶子のゆかりの地でもあります。商業都市そして刃物や鉄砲の生産地として栄えた地でもあります。ぜひ堺にお立ち寄りの際には歴史にも触れてみてください。皆様のお越しをお待ちしております。

大会日程

第1日目(大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス)

9:30～12:00	12:00～13:30	13:30～16:30	17:00～19:00
ワークショップ (対面形式/オンライン形式)	昼食	特別講演 (ハイブリッド形式)	懇親会

第2日目(大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス) ※第2日目は、すべて対面形式での開催です

9:30～11:30	11:30～12:45	12:45～14:45	15:00～17:00
研究発表I	昼食	シンポジウム	研究発表II
	指定討論者・司会者 打ち合わせ会		
学会員のみ	一般公開	非会員(心理臨床専門職)・大学院生参加可	

大会内容

第1日目 2023年10月21日(土) 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス

ワークショップ 9:30~12:00

対面形式による開催

- A 安島智子 (このはな児童学研究所) 遊戯療法の基礎; 講義と事例検討
- B 伊藤良子 (京都大学名誉教授) 東日本大震災の被災児に対する遊戯療法過程
- C 國吉知子 (神戸女学院大学) 親子相互交流療法(PCIT)の展開と最新動向—1歳児や場面緘黙児への適用の広がり—
- D 黒川嘉子 (奈良女子大学) 遊戯療法における情動調律
- E 永井徹 (東京都立大学) 子ども支援における困難な親面接について
- F 山中康裕 (京都ヘルメス研究所/京都大学名誉教授) マンガとあそび—ファンタジーを生きる—

オンライン形式による開催

- G 桑原知子 (放送大学教授・京都大学名誉教授) 「遊ぶことと現実」—ファンタジーの「終わり」と心理療法の「終結」—
- H 齋藤真 (愛知学院大学・ユング派分析家[AJAJ, IAAP]) 心理療法(遊戯療法や箱庭療法)の治療関係について

昼食 12:00~13:30

特別講演 13:30~16:30 対面とZoomによるハイブリッド方式で行います

テーマ マンガをつくる、マンガをあそぶ

講師 石川雅之 (漫画家)

指定討論者 岩宮恵子 (島根大学)

司会 川部哲也 (大阪公立大学)

マンガは、子どもから大人まで、多くの人のところを魅了する。漫画家という職業にあるひとには、マンガを描くにあたり、物語がどのように生まれてくるのだろうか。そして、魅力的なキャラクターはどのように形作られるのだろうか。おそらく、その生成プロセスには「ファンタジー」の力が大いに作用しているように思われる。遊戯療法において、子どもたちが様々なあそびを発明し、その世界をセラピストと共に生きるプロセスと、どこか重なりがあるのではないかと考えられる。この特別講演は、そのような問題意識をもって企画されたものである。

特別講演は3部構成を予定している。第1部は、石川雅之氏と司会(川部)とで対話しながら、石川氏がこれまでに描いた物語、キャラクターについて紹介しつつ、その創作中に考えていたこと、感じたことについての語りを導く。第2部は、岩宮恵子先生(島根大学)による話題提供を行う。思春期の子どもたちが、マンガをどのように読んでいるのか、どのように楽しんでいるのかについて、臨床心理学的な観点から語っていただく。第3部は、石川氏と岩宮先生による対談を行う。第1部、第2部の内容を受けて、漫画家が「マンガをつくる」ということと、子どもたちが「マンガをあそぶ」ということとの間の接点について考察を深める。そこにファンタジーの世界を生きるこの意味が浮き彫りになることが期待される。適宜、司会者も対話に加わり、実りある対談にしたい。

講師 /石川雅之(いしかわ・まさゆき)氏

大阪府堺市出身。1997年に『日本政府直轄機動戦隊コームインV』でデビュー、初連載。1999年、『神の棲む山』(『人斬り龍馬』所収)でちばてつや賞準入選受賞。「モーニング」連載の『週刊石川雅之』などを経て、2004年『もやしもん』を連載開始(2014年完結)。同作で第12回手塚治虫文化賞マンガ大賞、第32回講談社漫画賞受賞。2009年より『純潔のマリア』を連載開始(2015年完結)。2015年5月に『惑わない星』連載開始。

指定討論者 /岩宮恵子(いわみや・けいこ)氏

島根大学人間科学部教授。専門は臨床心理学。現代に生きる人の問題を、この世とは異なった世界(異界)という視点と日常との関係から考え、特に思春期の心について研究を深めている。著書に『フツウの子の思春期—心理療法の現場から—』(岩波書店)、『好きなにはワケがある—宮崎アニメと思春期のころ—』(ちくまプリマー新書)、『増補 思春期をめぐる冒険—心理療法と村上春樹の世界—』(創元社)など多数。

懇親会 17:00~19:00(予定)

*会場等の詳細は第2号通信(抄録集)にてお知らせいたします。参加費は当日お支払いください。

*感染拡大状況によっては開催方式を変更したり、中止したりする場合があります。ご了承ください。

研究発表I 9:30~11:30

昼食 (司会者・指定討論者打合せ会) 11:30~12:45

シンポジウム 12:45~14:45

テーマ アニメやマンガから浮かび上がるこころ

話題提供者：西嶋雅樹(神戸女学院大学)

岩城晶子(宝塚大学)

川部哲也(大阪公立大学)

司会：高橋幸治(大阪公立大学)

遊戯療法に限らず心理療法の中では、アニメーションや漫画、あるいは小説やドラマについて話題になることがしばしばある。そして、クライアントが上手く言語化できずとも、その語りにはクライアントにとっての大切な意味が込められていることも多い。このシンポジウムではまず3人の話題提供者が、それぞれにアニメーションやマンガを紹介しつつ、その作品や作り手の意図から浮かび上がる人のこころのありようについて話題提供を行う。後半は、3つの話題をまとめる形で臨床心理学の観点からディスカッションを行う。文芸評論の専門家ではなく心理臨床家としての語りから、遊戯療法に活きる視点が提供できればと考え、企画した。

研究発表II 15:00~17:00

参加資格

特別講演は一般公開いたします。

ワークショップ、シンポジウム、懇親会は、非会員の方(日本遊戯療法学会会員以外の守秘義務を有する専門職の方、臨床心理学を学ぶ大学院生)も会員に加えて参加可能です。第2日目の研究発表I・IIは会員のみが参加できます。

予約大会参加申し込み方法

大会ホームページ(URL: <https://www.playtherapy28th-sakai.com>)よりお申し込みください。

予約大会参加の申し込み締め切りは 2023年8月31日(木) となります。9月1日(金)以降にお申込みをされた方は当日参加扱いとなります。また対面でご参加の方のみ当日参加を受け付けます。オンラインでご参加の場合には予約大会参加の申し込み期限までにお申し込みください。

お申し込み後、ご案内する振込先に以下の予約大会参加費をお振込みください。予約大会参加費の振り込み期限は、2023年9月7日(木) です。9月8日(金)以降については、当日大会参加費を総合受付にてお支払いいただきます。

参加費

	学会員	学会員(大学院生)	非会員(専門職)	非会員(大学院生)	一般
大会参加費	6,000円 (当日7,000円)	5,000円 (当日6,000円)	—	—	—
ワークショップ	4,000円 (当日5,000円)	3,000円 (当日4,000円)	5,000円 (当日6,000円)	4,000円 (当日5,000円)	—
特別講演 シンポジウム	大会参加費に含みます		1プログラム参加 1,500円 2プログラム参加 2,500円		特別講演参加 1,500円

ワークショップ参加

ワークショップの参加申し込みについては、同封のワークショップ案内をご覧ください

研究発表申し込み

研究発表は1発表あたり討論を含めて2時間で行います。希望される方は以下の要領でお申し込みください。

- ① 大会ホームページ (URL: <https://www.playtherapy28th-sakai.com>)より **2023年6月30日(金)**までにお申し込みください。
- ② お申し込みの際は、フォームに従い、発表演題、発表要旨、希望の座長(コメンテーター)、機器の使用希望をご記入下さい。お申し込み後、大会ホームページより「抄録集原稿フォーマット」をダウンロードし、作成原稿を **2023年7月14日(金)**までに大会事務局までメール送付して下さい。
- ③ 演題発表の採否、座長(コメンテーター)は、日本遊戯療法学会第28回大会事務局によって決定されます。座長(コメンテーター)については希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ④ 発表に使用できる機器はノートパソコンからのプロジェクターによる映写のみです。研究発表申し込みの際に機器の使用希望を入力してください。ノートパソコンの貸し出しは致しませんので、発表者が各自お持ちください。

なお、研究発表の資格として、以下の要件を満たしていることが求められます。

- ・ 演者、連名演者は、日本遊戯療法学会の会員であること(現在非会員で、研究発表を希望される方は、3月中に入会申込書を学会事務局に提出するようにお願いします)。
- ・ 演者、連名演者は、2022年度までの年会費を完納していること。

その他 注意事項

※大会開催に関する連絡、プログラム・抄録集の配布など第2号通信以降は、原則としてホームページおよび電子メールにて行いますのでご注意ください。名札は当日受付にてお渡しします。

※日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイントについては「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」に基づき、以下のとおり付与されます。

- ワークショップ受講+大会参加 = 4ポイント
- ワークショップ受講+シンポジウム参加 = 2ポイント
- ワークショップおよび研究発表での発表 = 4ポイント
- 大会参加 = 2ポイント

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては開催方式を変更・中止する場合があります。ご了承ください。

※年会費納入状況については、第一号通信の宛名ラベルの会員番号の横に記載されている()をご参照ください。

()内には、年会費(6000円)が未納入である年数が記入されています。年会費の納入は以下の口座をお願いいたします。

*ゆうちょ銀行 口座名称 : 一般社団法人 日本遊戯療法学会
シヤ)ニホンユウギリョウホウガツカイ
*ゆうちょ銀行から振込みの場合 : 記号番号:00120-9-731434
*他行などからの振込みの場合 : 店名:〇一九(ゼロイチキユウ)店 当座 口座番号:0731434

— お問い合わせ・連絡先 —

日本遊戯療法学会 第28回大会事務局

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 現代システム科学研究科 川部研究室

E-mail: playtherapy28th.sakai@gmail.com

URL: <https://www.playtherapy28th-sakai.com>

※お問い合わせはメールまたはホームページ上のお問い合わせフォームよりお願いいたします。